

## テクトロニクス、PAM4 のトータル解析ソリューションを発表

世界最高クラスの低ノイズ・アキュイジションを実現。リアルタイム・オシロスコープと  
サンプリング・オシロスコープの両方で実行可能な測定ツール

テクトロニクス(代表取締役 米山 不器)は、本日、最新の PAM4 変調測定に対応する、光／電気両方のインタフェースをフル・サポートした、業界で最も総合的な解析ツールセットを発表します。この解析ツールは、DPO70000SX シリーズ 70GHz リアルタイム・オシロスコープ、DSA8300 型サンプリング・オシロスコープのいずれでも実行可能で、アプリケーションによって選択が可能です。どちらの機器構成を使用した場合でも優れた測定精度を得ることができます。

PAM4 は、400G(通常、8×50G)電気／光インタフェースの IEEE P802.3bs ワーキング・グループによる、最新の 400G/秒 Ethernet 規格で採用されています。2 値レベル・シグナリングを使用する従来の NRZ と比べると、PAM4 で使用される 4 値レベル・シグナリングは非常に複雑であり、テスト機器には性能、ノイズ感度に新たな要求が求められています。

業界内でこの新しい変調手法を広めるためには、光と電気両方のドメインをサポートするツールセットで 13GBaud~56GBaud の PAM4 信号を確実に評価できる能力が重要になります。テクトロニクスの DPO70000SX シリーズと DSA8300 型のオシロスコープは業界トップクラスの低ノイズ性能を持ち、マルチレベルの直接変調解析サポートに適した、強力で正確な信号アキュイジション・テスト・システムをエンジニアや研究者に提供します。

PAM4 に見られるマルチレベル・シグナリング解析において複数のビットの状態を正確に取込み、解析するためには、優れたノイズ性能、S/N(信号対ノイズ)比を持ったオシロスコープが必要です。テクトロニクスの DPO70000SX シリーズ・オシロスコープは、ATI(非同期タイム・インターリーブ)技術により低ノイズによるアキュイジションを実現しており、従来の周波数インターリーブ手法による高性能オシロスコープに比べて最大で 30%も優れたノイズ性能を持っています。

光 PAM4 の測定解析においても、低ノイズによるアキュイジションが有効です。DSA8300 型サンプリング・オシロスコープの光アキュイジション技術は、フル・クロック・リカバリ使用時であっても業界トップクラスの低ノイズ、高感度を実現しています。テクトロニクスの 80C15 型 Opt. CRTP 光モジュールは優れたノイズ性能を持ち、TDEC、SR4 コンフォーマンス測定機能にも完全に適合しており、光 PAM4 解析に最適です。

テクトロニクス、パフォーマンス・オシロスコープ、ジェネラル・マネージャのブライアン・ライク(Brian Reich)は、次のように述べています。「現在および将来の IEEE 規格における PAM4 技術の急速な進歩に対し、当社は有効な測定解析ツールでお客様のニーズに応えます。世界トップクラスの 2 つのアキュイジション・システムによる総合的な PAM4 ソリューションは、100G または 400G に携わる設計エンジニアにとっては PAM4 開発に必要な検証／設計ツールであり、業界で最も優れた低ノイズ、広帯域が得られます」

PAM4 解析ツールセットに含まれている機能としては、すべての波形または相関のとれた波形の解析、マルチレベル・スレッショルドのパス／フェイル解析のためのリファレンス・レベル設定、すべての LSB、MSB レベルの立上り／立下り回数、テクトロニクスによる PAM 独自の PLL モデルを使用した内蔵クロック・リガバリなどが含まれています。

テクトロニクスの 100G、400G テスト・ソリューションのすべては、9 月 28～30 日にスペインのバレンシアで開催中の ECOC 2015 の展示会(ブース番号:435)でご覧いただけます。展示会の詳細については、ウェブ・サイト (<http://www.ecocexhibition.com/>)をご覧ください。

## 製品価格

DPO70000 シリーズ・オシロスコープ・オプション

Opt. PAM4 PAM4 トランスミッタ解析ソフトウェア 88 万 6 千円(税別)

## テクトロニクスについて

テクトロニクスは、計測およびモニタリング機器メーカーとして、世界の通信、コンピュータ、半導体、デジタル家電、放送、自動車業界向けに計測ソリューションを提供しています。65 年以上にわたる信頼と実績に基づき、お客様が、世界規模の次世代通信技術や先端技術の開発、設計、構築、ならびに管理をより良く行えるよう支援しています。米国オレゴン州ビーバートンに本社を置くテクトロニクスは、現在世界 22 カ国で事業を展開しています。詳しくはウェブ・サイト ([jp.tektronix.com](http://jp.tektronix.com))をご覧ください。

## テクトロニクスの最新情報はこちらから

Twitter ([@tektronix\\_jp](https://twitter.com/tektronix_jp))

Facebook (<http://www.facebook.com/tektronix.jp>)

YouTube (<http://www.youtube.com/user/TektronixJapan>)

## お客さまからのお問合せ先

テクトロニクス お客様コールセンター

TEL 0120-441-046 FAX 0120-046-011

URL [jp.tektronix.com](http://jp.tektronix.com)

報道関係者からのお問い合わせ先  
テクトロニクス 広報室 瀬戸  
電話: 03(6714)3097 Fax: 03(6714)3667  
Email: [seto.atsuko@tektronix.com](mailto:seto.atsuko@tektronix.com)

Tektronix、テクトロニクスは Tektronix, Inc. の登録商標です。本文に記載されているその他すべての商標名および製品名は、各社のサービスマーク、商標、登録商標です。